

Event

税制・補助金セミナー

資料請求
受付中

新型コロナウイルス感
染拡大に伴うセミナー
開催中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、お客様や関係者の皆様の健康・安全を考慮し、当面の間セミナーを中止することにいたしました。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

開催中止

金沢会場 3月11日(水)

富山会場 3月12日(木)

既にお申し込みをされた
皆様へ

随時、弊社営業より資料をお渡しする予定です。詳細は弊社営業まで、お問い合わせください。

お申込みされていない
皆様へ

セミナー資料をご希望の方は、弊社HPよりお申し込みください。



プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品
事務用品を
Webから簡単購入!

2 34,000 点にのぼる
豊富な品揃え!

3 14 時までの
ご注文で翌日お届け!

ヤマサン食品工業株式会社 様

(所在地：富山県射水市)

Case Study

Excel 管理からの脱却！補助金も活用し、間接部門の業務を改善



ヤマサン食品工業株式会社 本社外観

ヤマサン食品工業株式会社様は、山菜水煮加工におけるトップクラスの食品メーカーとして、全国のお客様へ付加価値のある加工食品を提供されています。近年では、山菜加工の技術を生かし、野菜や果物の加工食品を開発し、商品ラインナップを拡充しておられます。

今回は、人事・給与・勤怠・会計といった「バックオフィス業務」の総合的な改善に向けた取り組みと補助金制度の活用について、ヤマサン食品工業株式会社 企画部事務課 係長 堀田晴枝様、板垣貴紀様にお話を伺いました。(以下、敬称略)

ご検討の背景を教えてください。

堀田：検討のきっかけは、勤怠管理に対する従業員からの改善要望でした。紙のタイムカードを使用していましたが、各個人による残業時間の計算、所属長によるタイムカードの Excel 転記、総務部の目検によるタイムカードのチェックなど、非効率な点がたくさんありました。その他、会計業務でも Excel データを使っていたため非効率でした。また、決算処理は会計事務所に委託していたので、財務状況をタイムリーに把握することができないといった問題もありました。これらの課題を解決するためには、勤怠管理や会計の他、人事・給与も含めたバックオフィス業務全体が Excel 管理から脱却する必要があると考え、システム導入の検討を始めました。

改善の優先順位を工夫されたようですが？

堀田：勤怠管理は全従業員に関連する部分であり、最も効果が見込めることから STEP1 とし、次の STEP2 で会計、最後の STEP3 で給与の改善に取り組むことにしました。

システム選定のポイントを教えてください。

堀田：同じシリーズのシステムで、システム間の連携が簡単にできて各種マスタの重複管理が不要なこと、短期間で導入できること、サポートが充実していることがポイントとなり、OBC 奉行シリーズに決めました。また、HCS さんから「IT 導入補助金」制度をご紹介いただきましたが、OBC 奉行シリーズが補助金申請の対象である IT ツールとして登録されていたことも決め手になりました。補助金申請時には、IT 導入支援事業者である HCS さんに手厚くサ

ポートしていただきました。

導入してみてもいいでしょうか？

堀田：STEP1 として、2019 年 1 月に就業奉行（＋人事奉行）を稼働しました。打刻は IC カードを使った方式に変更しました。休暇申請や残業申請などで運用が煩雑な部分があったので、勤怠管理のシステム化に伴い就業規則も変更しました。その結果、申請の誤りも少なくなり管理しやすくなりました。

板垣：次に STEP2 として、2019 年 10 月に勘定奉行を稼働しました。2020 年 4 月の完全移行に向け、現在は並行運用中です。勘定奉行は体系化された勘定科目を持っていたので、これを活用することで、運用がシンプルになりました。

今後の展望を教えてください。

板垣：STEP3 である給与奉行導入は、2020 年度の課題です。その他の取り組みとしては、経費/旅費精算の仕組みも導入して、勘定奉行と連動させたいと考えています。

貴重なお話ありがとうございました。



「嬉しい」を創り、叶える。



ヤマサン食品工業株式会社

感染拡大する新型コロナウイルス

「テレワーク」の必要性、強まる

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、交通混雑の解決策として「テレワーク」利用の機運が高まっていました。今年に入り新型コロナウイルスが猛威を振るうようになり、企業に「時差出勤やテレワーク利用」を求められています。

テレワークとは、ICT技術を活用し、場所や時間にとられない柔軟な働き方をすることです。導入するための検討事項を整理すると、「ICT環境」「コミュニケーション方法」「社内ルール」の3つがあげられます。

01. ICT環境を考える



まずは、利用する機器の検討が必要です。会社で使用しているPCを持ち帰る・専用のノートPCやタブレットを準備する・社員のPCを利用する等いろんな方法があります。

また、業務に必要な情報に対してのアクセス方法の検討も必要です。会社内のサーバに保管されているシステムの情報や、文書ファイルは業務作業に欠かせません。会社に設置されているPCに遠隔アクセスする「リモートデスクトップ形式」、サーバ上に仮想の業務PC環境を作りPCにはキーボード操作や画面表示だけを行う「シンクライアント方式」、業務に必要なデータを外部媒体にコピーし持ち帰る方式などがあります。

また、これらの機器を利用する上でネットワーク環境が必要となります。従業員が契約しているネットワーク

環境を利用する・会社でネットワーク接続用のモバイルルータを準備するなどの検討が必要です。

もっとも重要になるのが、セキュリティ対策です。情報の流出を避けるためにも、想定される利用様態に合わせてセキュリティ対策が必要です。

02. コミュニケーション方法を考える



スムーズに業務を遂行するためには、社員間での意思伝達が必要不可欠ですが、テレワークはコミュニケーションの質や量が低下しがちです。Eメールや電話のやり取りだけでなく、ビジネスチャットやWeb会議、テレビ会議などのコミュニケーションツールが必要となります。緊急の場合には、すぐに始められるクラウド型サービスの利用をご検討ください。

03. 社内ルールを考える



従業員に負担をかけずテレワークできるよう、始業・終業時間の確認方法や休憩の仕方、残業申請方法、作業内容の評価方法などについて、社内に取り決めする必要があります。

テレワークの推進には、「経営トップの強力な支援」・「中間管理職の参画」・「利用者メリット共有」が必要となります。目的・目標を明確にしそれにあった社内ルールの整備が必要となります。

テレワークについては、弊社営業までご相談ください。

HCSのよここ



システム本部ソリューションシステム部(福井)
サブリーダー

かわはら ひろたか

川原 弘嵩 さん

Q. 現在の業務内容は？

主に製造業のお客様を担当しており、販売管理システムの提案、導入、サポートを行っています。製造業のシステムはお客様ごとに特徴があり苦労することもあります。お客様から「運用しやすくなった」「お願いしてよかった」などのお言葉をいただくとこの仕事をやっていてよかったとしみじみ感じます。

Q. 休日の過ごし方は？

毎週のように各地へドライブに出かけます。土地ごとに食べ物や環境の違いがあるので、毎回様々な発見があり刺激的で楽しいです。南は鹿児島まで行ったので、青森や北海道など、北方面へもドライブしたいです。また、海外旅行にも興味があるので機会があればアジアあたりの未開拓の国にも行ってみたいです。



社員旅行にて@台湾

編集後記



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全国的にイベントの中止が相次いでいます。弊社も皆様の健康・安全を考慮し、3月に予定していた「税制・補助金セミナー」の開催を中止にさせていただきました(資料請求は受付中です)。また、多くの方が待ち焦がれる東京オリンピックの開催も危ぶまれており、最近では暗い話題が目立ちます。

すぐそこまで来ている春の暖かい風とともに、明るいニュースが舞い込んでくることを期待したいものです。(まつお)

お問い合わせ



全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICT イノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

www.hcs.co.jp